

カヤバNEWS

ショックアブソーバ要素開発への AI 技術活用

カヤバの主力製品であるショックアブソーバ(以降SA)の開発効率化を目的とした、SAデータ分析システムを開発しました。本システムにより、新製品を評価するために収集した走行試験データを、自動で一元管理できるようになりました。また当社の分析者が、収集したデータに対し、内製AIサービスを活用して分析するなど、様々な分析アプローチを試せるようになりました。

本システムには、パブリッククラウドのAWS(Amazon Web Services)を用いて構築した“データ分析基盤”が含まれており、アップロードされた走行試験データの管理・検索・簡易分析までの自動化(一部簡素化)を実現しています。

また本システムの一機能に、最先端のAI技術を活用した周波数解析サービスがあります。このサービスにより、自動簡易分析では発見できなかった開発品の特徴(新規性)を把握するための手作業を、AIが支援する体制も整備しています。



SA データ分析システムの概要図

SA 作動油の開発支援のために、本システムの試験運用を行い、開発品の特徴把握に貢献しました。また基盤に蓄積されたデータを活用し、新規の開発支援 AI の研究・開発も行われました。

本システムの本格運用により、多様な走行試験データの蓄積および利活用の円滑化に貢献できるため、結果として開発領域における自発的なDX(多角的なデータ分析や内製AIによるイノベーションなど)の加速が期待できます。

■詳細は「カヤバ技報 第66号」を参照ください。

https://www.kyb.co.jp/technical_report/data/no66j/technology_commentary.pdf

【本件に関するお問合せ先】

広報 IR 室

TEL: 03-3435-3552

以上